

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 第24回 愛知県医学検査学会開催にあたり 1
- 第24回愛知県医学検査学会開催案内 2
- 地区だより(尾張西地区) 3
- 健康救急フェスティバル参加報告 4
- 令和7年度日臨技中部圏支部研修会『輸血研修会』開催案内 5
- 研修会 6
- メールアドレス登録のお願い ... 6
- 愛臨技HP求人情報掲載について 6
- 講演会・研究会 7~8
- 会員執筆物の紹介原稿募集 ... 8
- 令和8・9年度 班員募集のお知らせ 9

2025年10月1日現在 正会員数 4,023名

第24回 愛知県医学検査学会開催にあたり

学会長 岩崎 卓識
(修文大学 医療科学部 臨床検査学科)

このたび、第24回愛知県医学検査学会を、尾張西地区の担当のもと、令和8年7月5日(日)に中日ホール&カンファレンスにおいて開催する運びとなりました。

今回の学会テーマは、メインテーマを「地域医療を支える検査のチカラ」、サブテーマを「Beyond the Lab. ~検査室を超えて~」といたしました。少子高齢化や人口減少が進むなかで、地域医療は地域住民の健康を支えるうえで必要不可欠な存在となっています。このような医療環境が大きく変化するなか、臨床検査分野においても病院施設にとどまらず、検査室の枠を超えた活躍が求められています。本学会では、地域医療に関わる愛知県内の臨床検査技師の活動について皆様と情報共有を行うことにより、地域医療に積極的に貢献できる臨床検査技師を目指す契機となることを願っております。

シンポジウムでは「地域医療と臨床検査技師」をテーマとしました。パンデミックや大規模災害時の地域との情報共有、災害派遣医療チーム(DMAT)の活動、訪問看護や在宅医療への関わりなど、実際に病院外で活躍する臨床検査技師の取り組みを紹介いたします。臨床検査技師だからこそ果たせる役割やその価値を再認識し、地域医療の未来を共に考え、若手から中堅・ベテランまで、参加者全員が検査室の枠を超えて、地域医療で活躍できる未来を創造する場となることを目指しております。さらに、例年ご好評をいただいているハンズオン企画を、本年度も実施する予定です。

また、地区特別企画として「安心・安全な運行を通じて地域を支える仕事(仮称)」と題し、名古屋鉄道株式会社様より講師をお迎えし、鉄道やバスといった公共交通機関における、安全を確保するための業務と管理体制についてご講演いただきます。医療以外の分野における安全に対する視点や思考に触れることで、柔軟な発想や新たな考えが生まれ、より質の高い医療体制の構築につながることを期待しております。

会場は、新たに建て替えられた名古屋市中区栄の中日ホール&カンファレンスです。名古屋市営地下鉄栄駅に直結し、複合施設や600席収容の多目的ホールを備えた新たなランドマークとして注目を集めています。参加者の皆様にとって魅力的なプログラムや、多くの演題発表を通じて実り多い学会となるよう、鋭意準備を進めております。会員の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。



第24回

愛知県医学検査学会 開催案内

開催日時 令和8年7月5日(日) 9:10~16:15(受付開始 8:45)

会場 中日ホール&カンファレンス
〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1番1号 中日ビル 6F

担当 尾張西地区

学 会 長：岩崎 卓識(修文大学)

副 学 会 長：杉浦 縁(藤田医科大学ばんだね病院)

実行委員長：古市 幹雄(一宮市立市民病院)

事 務 局 長：広瀬 美砂(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)

学会テーマ 地域医療を支える検査のチカラ Beyond the Lab. ~検査室を超えて~

学会内容 一般演題発表(口演)、シンポジウム、地区特別企画、
共催セミナー(ランチョンセミナー)、ハンズオンセミナー、企業展示

参加費 3,000円(消費税10%含む) ※学生は無料(但し、受付時に学生証を提示)

参加資格 資格は問いません。他職種の方、賛助会員以外の方もご参加ください。

【一般演題募集要項】



演題発表

Presentation of Abstracts

演題・抄録登録

査読

講義資料アップロード

登録期間：令和7年11月17日(月)~令和8年1月30日(金)

申込方法：日臨技 HP 会員専用サイトを利用した演題・抄録の同時登録です。

日臨技 HP 会員専用サイトから会員番号、パスワードを入力しログインします。

演題発表内の「演題・抄録登録」から学会の選択にて「第24回愛知県医学検査学会」を選択し、登録してください。

登録方法：愛臨技 HP「第24回愛知県医学検査学会」より詳細を確認のうえ、登録手続きを行ってください。

※非会員の方は下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先：抄録担当 神野 真司(藤田医科大学ばんだね病院)

E-mail : aamt24abstract@gmail.com



JA 愛知厚生連江南厚生病院は、診療科37科、病床数630床の尾張北部医療圏(江南市・一宮市・各務原市・犬山市・岩倉市・小牧市・春日井市・扶桑町・大口町)における基幹病院です。

当院は JA 愛知厚生連昭和病院と JA 愛知厚生連愛北病院を統合し、平成20年5月1日に開院しました。

当院は、愛知県より地域周産期母子医療センター・救命救急センター・地域中核災害医療センター・がん診療拠点病院・地域医療支援病院の指定を受け、愛知県地域保健医療計画において重要な役割を担っています。健康管理センターでは健診活動を通して、地域の皆様の健康を見守っています。

地域の皆様に信頼される病院であるために、医療者として確かな知識と技術を身につけるだけでなく、心の通う医療を提供することができるよう、職員一同努めています。

写真の左下は江南厚生病院のシンボルマークです。周りは、「こうなんこうせい病院の『こ』の2文字」と江南市の花である「藤」をイメージしています。中心は、江南厚生病院が10年、20年、100年と発展し続けるよう「若い苗木」をイメージしています。

当検査室では、臨床検査技師58名、検査補助6名で業務を行っています。2015年よりメンターシッ

プ制度を導入しており、先輩技師(メンター)が一定期間、1人の新人技師(メンティ)に対してマンツーマンで伴走する制度です。今年度より、育休復帰職員に対してもこの制度を導入しています。

江南市は2025年1月に市制70周年を迎え、記念事業の一環として、オリジナルドラマ「ようこそ～家族のかたち～」が放送され、当院も撮影に協力してきました。

また、手記「春の香り 脳腫瘍と闘い、十八歳で逝ってしまった最愛の娘へ」をもとに制作された映画「春の香り」でも当院が撮影に使われました。

江南市といえば、曼陀羅寺公園の藤まつりが有名です。津島(天王川公園)、岐阜県(竹鼻別院)の藤まつりとともに、「東海ふじ三昧」のひとつに数えられています。

曼陀羅寺公園には11種類の藤が植えられており、4月中旬(早咲き)から5月上旬(遅咲き)にかけて、色とりどりの花を楽しむことができます。また、例年この時期には、国の重要文化財に指定されている正堂などで宝物拝観も行われます。ご興味のある方は、ぜひこの期間に訪れてみてはいかがでしょうか(※令和7年は、4月29日から5月5日まで開催されました)。

健康救急フェスティバル参加報告

愛知県臨床検査技師会 尾張北地区理事 木村 圭祐

令和7年9月7日(日)、春日井市役所及び文化フォーラム春日井において2025春日井健康救急フェスティバルが開催されました。昨年は台風の為イベントが中止となり、今年も台風接近中ではあったものの、2日前に無事通過。当日は30℃以上の真夏日と天候に恵まれました。この催しは「健康の日」と「救急の日」にあわせ、「健康づくり」及び「救命活動」への理解を深めることを目的に開催されます。今年は26ブースで血管年齢チェックや救急車の展示などの他、講演会場での健康救急に関係した講演会などが開催され、多くの方で賑わいました。

愛臨技のブースでは「何が見えるかな?～臨床検査技師さんのお仕事～」と題して超音波検査と顕微鏡検査を行いました。超音波検査では果物やミッキーの寒天を用いて参加者の方に実際にプローブを扱ってもらい、顕微鏡検査では某漫画を用いた説明により、子供たちに親しみを持って血液像をみてもらいました。どちらも順番待ちの列ができるほどの盛況で、血液像・エコー体験、延べ256名の参加がありました。このイベントに参加することで臨床検査技師の認知度の向上に貢献できたものと思います。



小牧市民病院 松永 尚也

2025健康救急フェスティバルに実務員として、はじめて参加させていただきました。私の担当したエコー体験では、子ども達と一緒にプローブを操作し、フルーツゼリーを観察しました。はじめは恐る恐るプローブを握っていましたが、どんなフルーツが見えているか一緒に考えていくうちに、次第に表情もやわらぎ、最後は笑って帰っていける姿がとても印象的でした。中には「ゼリーを塗るのはなんで?」など、興味をもって質問してくれた子どももありました。今回のイベントを通じて、子ども達の思い出づくりや、地域の健康増進に貢献できたのではないかと感じています。また、多くの方に臨床検査技師を知っていただくことができ大変うれしく思います。



令和7年度 日臨技中部圏支部研修会「輸血研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部
実務担当技師会：愛知県臨床検査技師会

【テーマ】輸血事故ゼロと適正輸血の実現に向けて～現場で活かせるリスク管理と対応力の強化～

【日 時】令和8年1月24日(土) 13:00～、25日(日) 12:30

【場 所】JP タワー名古屋 5階 名市大ミッドタウン 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1-1 JP タワー名古屋 5階

【定 員】60名

【受講料】8,000円(会員)、10,000円(非会員)(消費税10%含む)

【日 程】《1日目》1月24日(土)

12:30 受 付

13:00 開講式／オリエンテーション

13:15 【さらなる適正輸血の推進～最新の知見とガイドラインの実践的活用～】

座 長 小牧市民病院 水野 友靖

講演1 『適正な製剤管理～細菌スクリーニング血小板の知見も含めて』

講 師 日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター 伊藤 光

14:00 講演2 『輸血関連ガイドラインの活用』

講 師 日本赤十字社 血液事業本部 奥田 誠

14:45 【対談：コミュニケーションが生命を救う～臨床検査技師と看護師の“壁”をこえて～

進 行 豊橋市民病院 中村 藍

演 者 愛知医科大学病院 林 恵美

演 者 愛知医科大学病院 谷口 緋香瑠(臨床輸血看護師)

15:15 【輸血医療を止めないために～災害、サイバー攻撃に備える～】

座 長 名古屋市立大学病院 南里 隆憲

講演3 『南海トラフ大地震に備えて』

講 師 藤田医科大学病院 石原 裕也

15:50 講演4 『サイバー攻撃と輸血医療の安定性』

講 師 東海大学病院 渋谷 祐介

16:25 事務連絡／終了

《2日目》1月25日(日)

8:30 受 付

9:00 【グループワーク：インシデント事例から学ぶ安全輸血】

進 行 帝京大学ちば総合医療センター

山本 喜則

豊川市民病院

沖松 秀美

大同病院

稲生千絵美

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

加藤 静帆

12:25 閉講式

【申込み方法】日臨技会員 日臨技 HP 内 JAMT 会員専用ページからの事前参加登録

日臨技非会員 下記研修会事務局にメールで連絡

会員専用ページでの登録が困難な場合は、下記研修会事務局にメールで連絡をお願いします。

【申込み期間】令和7年10月6日～12月20日

【受講料のお振込み】日臨技会員 事前参加申込時にクレジットカード決済

日臨技非会員 下記研修会事務局へお問い合わせください。

【参加方法】今回の研修は、現地開催のみとなります。直接会場までお越しください。

【宿 泊】参加者各自で手配をお願いします。

HP 登録、受講料振込み確認後、開催1週間前を目途にメールで資料等の詳細連絡いたします。

研修会事務局

〒470-1192 愛知県豊明市杓掛町田楽ヶ窪1-98 藤田医科大学 医療科学部 松浦 秀哲
Tel : 0562-93-2000(代表) Email : aamt.yuketsu@gmail.com

研 修 会

東三河地区 (現地開催)

基礎教科：20点

日 時：12月7日(日) 14:00～16:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月5日(水)～12月5日(金)

定 員：100名

参加費用：なし

場 所：成田記念病院 大会議室

テ ー マ：「輸血検査と血液型検査について
知識を深める」

講 師：

1. 「輸血用血液製剤の安全対策について」
愛知県赤十字血液センター 加藤 道
2. 「こんな時にどう対応する？－血液型検査－」
豊川市民病院 沖松 秀美
3. 「こんな時にどう対応する？－輸血検査－」
豊橋市民病院 瀧谷 陽子

司 会：渥美病院 長谷川正和

内 容：輸血検査は検査技師にとって必須の検査業務の一つですが、夜勤業務に限って携わる方にとっては不安を感じやすい分野でもあります。本研修会では「輸血検査と血液型検査について知識を深める」をテーマに、日常業務に直結する知識と技術を整理・共有する機会といたします。さらに、愛知県赤十字血液センターの加藤道先生をお招きし、血液製剤の安全対策についてご講演していただく予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

尾張北地区 (現地開催)

専門教科：20点

日 時：11月22日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(土)～11月21日(金)

定 員：50名

参加費用：なし

場 所：リップルスクエア
(アーバンネット名古屋ビル20F)

テ ー マ：「解剖よもやま話」

講 師：

1. 「身近だけど知らない“解剖”の雑学」
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 田中 浩一
2. 「身近だけど知らない“解剖”前からその後」
愛知医科大学 病理学講座 伊藤 秀明

司 会：名古屋徳洲会総合病院 木村 圭祐

内 容：解剖は言葉としては耳にする機会がありますが実際に業務に従事する機会は多くはないと思います。今回は実際に業務に従事している技師と病理医を講師にお迎えし、病理解剖にとどまらず系統解剖も含めその成り立ちから実際の病理解剖(解剖に至るまで、そしてCPCまで)について基本からマニアックな知識まで幅広く講演して頂きます。普段解剖に携わっていない方から携わっている方まで幅広い方のご参加をお待ちしております。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

講演会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：12月13日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(土)～12月12日(金)

定員：100名

開催方法：現地開催

場所：安保ホール

テーマ：「緊急輸血について」

講師：

1. 基調講演「手術室内での製剤管理」

藤田医科大学病院 臨床工学部 小田 佳史

2. 基調講演「救急全般の検査技師の役割」

刈谷豊田総合病院 磯部 勇太

3. 特別講演「外傷診療」

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 教授 渡部 広明

内容：緊急輸血は救急医療の中でも即応性が求められる重要な処置であり、迅速かつ確かな判断と多職種連携が不可欠です。本講演会では、医師・臨床検査技師・臨床工学技士のそれぞれの専門的立場から、緊急輸血に関わる実務と課題についてご講演いただきます。

講演1では手術時の血液製剤の安全管理と供給体制について、実際の運用を交えて臨床工学技士の立場から解説いただきます。講演2では臨床検査技師による緊急検査対応や迅速なデータ提供、医療チームとの連携についてご紹介いただきます。講演3では臨床医の立場から重症外傷時の初期対応および緊急輸血の判断基準、また臨床検査技師に求めることなどをご講演いただきます。日々の業務にすぐに活かせる、現場で役立つ知識を深められる機会です。皆様のご参加をお待ちしております。

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点(レポートを提出した者に限る)

閲覧期間：12月6日(土)～19日(金)

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(土)～23日(日)

※視聴方法は後日メールにて配信

定員：なし

レポート締切：令和8年1月2日(金) 締切

開催方法：オンデマンド配信

テーマ：ピットフォール

講師：

1. 「臨床化学検査におけるピットフォール」

藤田医科大学病院 藤田 裕佳

2. 「免疫検査のピットフォール」

名古屋市立大学病院 服部 真奈

3. 「検査前プロセスと検査値への影響

～採血による誤差要因と Q&A のご紹介～」

積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター

学術企画グループ 高田真由美

内容：本講演会では、「ピットフォール」をテーマに、化学・免疫分野において、検査手順や測定機器、検査データに潜む間違いやすい事柄についてお話しします。尚、当配信の視聴を希望される賛助会員、学生の皆様は(aamt-chem@aichi-amt.or.jp)に直接お申し込みください。後日、視聴方法について連絡致します。

共催：生物試料分析科学会 東海北陸支部

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：12月6日(土) 14:30～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月7日(金)～12月6日(土)

定員：120名

開催方法：現地開催

場所：JA あいちビル14階大会議室

テーマ：ここまでわかる呼吸器感染症

－微生物検査技師が知っておくべき検査のポイント－

講師：

1. 「君が気付いていないだけかも？」

抗酸菌検査のおもしろさ」

公益財団法人 結核予防会結核研究所 抗酸菌部主任研究員

吉田志緒美

2. 「臨床検査技師のための呼吸器感染症入門

～喀痰検査と治療戦略をつなぐ～」

名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部 助教 岡 圭輔

司会：小牧市民病院 西尾美津留

内容：抗酸菌検査は多くの施設で外注しており、苦手意識を持つ方も多いのではないのでしょうか。この機会に、実践に活かせる抗酸菌検査の知識を学び、理解を深めましょう。

また日常的に取り扱っている喀痰などの呼吸器系検体について、どのような検査が求められているのか正しく理解し、適切に実施できているでしょうか。本講演では、微生物検査技師が知っておくべき呼吸器感染症検査の知識を整理し、検査の意味を再考する機会とします。

開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達し次第締め切りとなります。また事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合があります。資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

研 究 会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県 外 会 員：500円(消費税10%含む)

生殖医学検査研究班

専門教科：20点

日 時：12月6日(土) 14:30～16:30

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月6日(木)～12月6日(土)

定 員：24名

開催方法：現地開催

場 所：岩倉市生涯学習センター会議室2

テ ー マ：胚盤胞について～応用編～

講 師：

1. 「アシステッドハッチングについて」
豊橋市民病院 川口 由佳
2. 「胚盤胞の TE 生検について」
藤田医科大学病院 及川 彰太
3. 「透明帯一部除去による残存割球除去」
八千代病院 田中 祥

司 会：トヨタ記念病院 芦野 実咲

内 容：2025年度の研究会は「胚盤胞」をテーマに開催しており、今回は応用編ということで胚盤胞に施す技術であるアシステッドハッチングとTE生検の手技について学ぶ機会になればと思います。また、良好胚盤胞を獲得するための取り組みとして残存割球除去法についての講演も企画しました。事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日 時：12月20日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
11月1日(土)～12月20日(土)

定 員：60名

開催方法：現地開催

場 所：アーバンネット名古屋ビル20F リップルスクエア

テ ー マ：細胞診 Up to Date

講 師：

1. 「当院の細胞診における LBC の運用」
公立西知多総合病院 稲垣 裕介
2. 「細胞診検査の精度管理
～ ISO15189に基づく体制構築～」
日赤愛知医療センター名古屋第二病院 新田 憲司

司 会：碧南市民病院 加藤 皓大

内 容：近年、LBC (Liquid-Based Cytology) が普及しつつありますが、講演1ではLBCの実際の運用や応用の事例を紹介します。講演2ではISO15189認定取得施設における細胞診の精度管理の体制構築について解説します。2つの講演後に細胞診業務に関して意見交換する時間を設けます。皆様の細胞診業務の Up to Date の場としていただければと考えております。

*事前参加登録なしでの当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前登録者優先となり、当日参加をお断りする場合がございます。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP

そうだ、応募しよう！

令和8・9年度

班員募集のお知らせ

*応募フォーム



公益社団法人愛知県臨床検査技師会

会長 藤田 孝

1. 募集人数
・各研究班 若干名(募集状況によっては希望に沿えないことがあります。)
2. 応募資格
・5年以内の日臨技生涯教育履修制度の修了。
(令和7年度修了見込みを含む)
3. 申込方法
・申込事項①～⑧は左記の応募フォームより Google アカウントにログイン
しお申し込みください。Google アカウントをお持ちでない方はお問合せ
ください。
4. 申込事項
 - ① 職場の所属長許可の有無
 - ② 応募研究班名
 - ③ 会員番号
 - ④ 氏名
 - ⑤ 施設名・所属先・所属地区
 - ⑥ 施設郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス
 - ⑦ 応募分野の経験年数・応募動機(100文字以上)
 - ⑧ 日臨技生涯教育研修履修・証明書の修了証
令和3～7年度何れか1枚を添付(PDF)。
ただし、令和7年度修了見込み者は令和7年度の履修証明書を添付。
※基礎教科(60点以上)+専門教科(140点以上)=合計200点以上
5. 申込締切
・令和8年2月16日(月)
6. 問合せ先
(公社)愛知県臨床検査技師会 学術部 杉浦 康行
JA 愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査室
TEL: 0566-75-2111 E-mail: y-sugiura@kosei.anjo.aichi.jp